

久保幸治議員
日本共産党



○国民健康保険税の引き下げについて ○高校生までの子ども医療費無料化について

その他の質問

- ・消費税10%への増税について
- ・中学校の統廃合について

- 問** 勝山市の国民健康保険は、加入世帯主が、年金生活者、非正規労働者と低所得者が多く、その平均保険料は、会社員健康保険の約2倍にもなる。市は「資産割」を廃止したが、国保料（税）が高い要因の一つには、「均等割」がある。生まれた子どもにまで保険料を払えというような制度を止め、加入者から徴収しすぎた、3億8千万の基金を使い国保税の引き下げをするべき。市長の見解を伺う。
- 答** 基金を活用した負担軽減については、見えるかたちでの税率改定のほか、参考として県が示す標準保険料率が引き上がった場合において保険税率を据え置くことも負担軽減の一つであると考えている。
- 問** 6月議会では、この予算840万が恒常的に増えるから出来ないと言う事でしたが、市民に必要な予算を見直せば、市内高校生・その保護者への支援策費用捻出は出来るはずで。この政策は、子育て世帯への支援になり、移住・定住の促進、子育て世帯への負担軽減、市のアピールと効果の大きい政策です。政策の早期実現が必要と考えますが、市長の見解を伺う。
- 答** 高校生までの医療費無料化については、全国的にも拡大している状況であるので、県の動向を注視しながら新たな子育て支援策の中の一環として前向きに検討していく。

吉田清隆議員
新風会・公明



○勝山型農業について

その他の質問

- ・救急出動時の蘇生対応について
- ・インフラ維持の負担について
- ・教育現場でのAED、心肺蘇生について

- 問** 私は、平成28年の7月と10月、今年の9月に田舎暮らし体験農家を受け入れ、現代の若い人が農業についてどのように思っているのか、これから若い人たちに農業へ興味を持ってもらうにはどうしたらいいか、若い女性の方にできそうな作業について等話し合った。勝山市は、体験者の感想を得るためアンケートを実施して、交流人口の増加を目指し勝山型農業の取り組みに生かしたいとのことだが、「勝山型農業」とはどのようなものか。また、これまでの体験者のアンケートの周知について伺う。
- 答** 勝山型農業は、勝山市の位置する中山間地域特有の豊富な水量と日中と夜間の気温差を活かした水稲中心の農業と考えている。将来にわたり持続的に勝山型農業を営むためには、農業従事者対象のアンケート結果で浮き彫りになった、高齢化、後継者不足への対応が課題となっている。
- 現在、市では観光の産業化に向けた取り組みを進めているが、観光産業としての農産物についての育成を検討していかねければならないと考えている。
- また、田舎暮らし体験交流事業参加者のアンケート内容については、ホームページ等での周知ができていなかったため、ホームページにて公開した。